

平成30年度における重点的な取組課題について

1 ICTを活用した教育の充実

社会の変化に向き合い、自ら新しい社会を創造する子どもたちの育成を目指し、学校教育における効果的なICT活用と、それを実現するための教育環境の整備を図るとともに、ICTを手段として積極的に活用するための学習機会を提供する。

(「目標1」－「施策の方向性2 確かな学力の育成」)

2 小学校英語教育の充実

学習指導要領の改訂に伴い、小学校中学年において外国語活動が導入され、高学年においては外国語が教科化されるなど、外国語教育の充実が求められている。グローバル社会におけるコミュニケーション能力の向上を図るため、ALTの増員などにより英語教育の推進・充実に取り組む。

(「目標1」－「施策の方向性4 夢や希望、志をはぐくむ教育の充実」)

3 小・中学校の適正配置

児童生徒数の減少が予想される中、将来にわたって良好な教育環境を確保するため、引き続き、秋田市小・中学校適正配置推進委員会を開催し、全市的な観点から望ましい学校配置の将来像について検討する。

(「目標2」－「施策の方向性1 良好な学校教育環境の整備」)